

平成 30 年度事業計画

1. コンプライアンスの厳守・・・日報やチェックシートを活用し、過誤請求「0」や、
実地指導（監査）時の指摘事項「0」を目標とする
2. 組織運営の実践、定着
3. 予防介護技術の習得・実践
サルコペニア・フレイル、看取の実施までの技術習得
4. 職員採用の促進（退職者防止）
5. 冬野職員・利用者確保、収支の早期安定化
6. 排泄支援ロボットの導入・・・3Kからの脱出
 - (1) D Free：尿意を上手く感じ取りにくい
⇒超音波で膀胱のふくらみを検知
 - (2) Hug：座る、立ち上がりの補助
⇒下半身の力が少し残っている人
 - (3) 座位、立位支援装置（全身の補助）
⇒ほぼ寝たきりの人ー便座までの移動

等を導入検討

平成 30 年 3 月 16 日
社会福祉法人きたば会
理事長 北波利雄